

函館北ロータリークラブ会報



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

2017~18年度 国際ロータリー テーマ
ロータリー：変化をもたらす

2017~18年度 国際ロータリー会長
イアン・ライズリー

深瀬晃一 会長 テーマ “地域を愛し、地域を育む”

★会長 深瀬 晃一 ★幹事 斎藤 秀司

《第2571回例会》第4号 8月8日(火)
(8月2日(水)の移動です)

本日のプログラム

ビールパーティー

於 五島軒 午後6時15分~

2017~2018 <第2570回例会>

第3号 7月26日の記録

◎司 会 深瀬 晃一 会長
◎斉 唱 手に手つないで、四つのテスト

◎会長報告 深瀬 晃一 会長
○特にありません。

◎幹事報告 斎藤 秀司 幹事
○既にご案内しておりますが、次週8月2日の例会は
時間と場所を変更し8日(火)6時15分より五島軒にて
夜間例会開催いたします。
○他クラブ情報 7月31日(月)函館亀田RC移動例会、8
月4日(金)函館五稜郭RC早朝例会となっております。
○例会終了後理事会を開催いたします。

◎親睦活動委員会 増山 正 委員長
ニコニコBOX投入報告
斎藤(秀)幹事・山下会員
……フルマラソン担当課長の池田様を歓迎して。
石橋会員・小笠原会員・森会員・増田会員
南木会員……毎日暑い日が続きますね。
吉田会員……明日からラジオ体操が始まります。皆
さん元気に参加しましょう。



7月26日 卓話
函館市教育委員会 フルマラソン担当課長
池田 敏春 氏

◎卓話「フル化2年で見えてきたこと」
函館市教育委員会 フルマラソン担当課長

池田 敏春 氏

函館マラソンは多くのスタッフ・ボランティアの方々にご協力いただいておりますが、北RCさんは多額の協賛をいただき、グレードの高い存在です。湯川の第4エイドが上手に運営されましたことに感謝を申し上げます。今後も引き続きよろしくお祈りいたします。

昨年の大会は暴風雨に見舞われました。我々は最善を尽くしましたが、ランナーが走る指標となる看板が10mの強風に煽られてキケンだということで、泣く泣く倒しました。第10エイド緑の島では100人のボランティアが集まりましたが、仮設テントが朝の時点で全て飛んでしまい、何もなくなってしまった。もうダメかと思いましたが、現場からは「予備のテントでやる、100人いるから何とかする」との報告が入りました。

マラソン大会を評価する評価軸があります。「ランネット」というサイトで、終わったあとに何点だったか得点がでます。去年の点数は68.2点でした。これは下から数えたほうが早い大会です。走ったランナーを引き止めて、ボランティアを集めて、さらに資金を集め、スポンサーの方が「こんな大会手伝いたくない」とならないよう、マネジメントをして今回2回目の大会を開催できました。

今年の大会ですが、出走率は概ね他の大会と差はありませんが、完走率が91.63%と、昨年の94%から、2%以上落ちました。ハーフの完走率はほとんど変わっていない。フルが前回91%から7%落ちて84%。昨年は低体温症で4件の救急搬送があり、ことしは熱中症で14件と過酷なレースになりました。熱中症の方で前日にお酒を飲みすぎた方や寝不足の方、もともと血糖値が高いなどの原因がありました。皆さん軽症で幸いでした。

コースが少し変わり、6月に国際陸上競技連盟（IAAF）の公認コースになりました。去年は「折り返しが5箇所もある大会はない」、「巴大橋を行ったり来たりするのはほとんどない」といわれましたが、公認コースになったことで理解が得られ、コースがダメだという声はかなり少なくなりました。なんで折り返しが5箇所もあるかといえば、①5号線は使わない、②産業道路は跨がない、③JR函館駅や函館空港、フェリーターミナルへのアクセスは保持すること、④ハーフのコースはできるだけ平らにする、という前提条件のためです。この状況で2年間考えたのがこのコースです。

評価サイトの得点をまとめました。『日本一の「函館マラソン」を目指して』という資料です。去年は下から数えたほうが早い大会でしたが、評価の低い箇所をすべてつぶして、いい大会にしていずれは日本一にしますという大見得をきりました。その上でスポンサーの方からは、普通は良くない評価は隠すが、それを解析してもってきてくれたということで、喜ばれ、信頼していただきました。これをつぶしたら、来年は良い大会になるだろうからと、支援していただきました。

「低評価（C）項目ワースト10」をみると、1. 会場へ（から）のシャトルバス、2. ネットやスマホへの記録配信が高いですが、この2点は去年の評価項目には無かったものです。去年評価が低かった項目をつぶすことを頑張ったのですが、新たな項目があるとは知らず、これらの対応ができていなかったと反省して

います。低評価の要因を分析し改善策を実施して最善を尽くして、赤（低評価）をなくし青（高評価）を増やすことを続けることで、いずれ日本一が見えてくると考えます。評価を5段階の★表示でも表されますが、去年の大会と比較できる項目では、赤（低評価・★3個未満）の項目がほぼなくなり、青（高評価・★4個以上）が増えています。低評価の項目が去年8項目⇒今年1項目まで減った。高評価は3項目⇒12項目と4倍に増えました。得点も去年は68.2点⇒今年86.7点（+18.5点）といい点数となりました。全国ベスト10に入る大会の得点とはいえば、あと4点でベスト10に入ります。4点といえば、今年は参加賞にBuff（バフ）をつけましたが、これは京都マラソンでも使われていて非常に人気が高いのですが、函館では初めてで「これなんだべ？」と言われました。会場案内・アナウンスもまだまだ改善できますし、移動経路の煩雑や荷物預かりで、これは新聞にもかかれましたが、セキュリティを強化したためにお客様の行列ができてしまった。そこら辺を改善していきたい。トイレは去年は厳しい評価でしたが、今年は4と高評価です。これで満足してはダメで5をめざします。フルとハーフで10分間の時差スタートにしたので、コースの混雑が解消されましたが、途中で早いランナーと遅いランナーが合流するので、セパレートをなんとかできればさらに高評価になります。給水所の水がぬるい、などの声もありましたが対策は見えていますので、これらをつぶしていきたい。91点でベスト10が見えてきますが、1位はというと95点だとベスト1、2が見えてきます。

フル化2年を踏まえて日本一が見えてきました。これに向かって邁進していきます。北RCの皆様におかれましても、我々が支えている大会は日本一のマラソンを目指しているんだ、ということをご理解いただきたく、引続いてのご支援をよろしく申し上げます。

（会報担当者：渡部 二康 委員長）

土地・建物・調査・測量・登記・土木設計
GIS 国土地理情報 等



株式会社 南木測量設計事務所

代表取締役 **南木 哲雄**

〒041-0821 函館市本通2-17-15
TEL 0138-54-5550 FAX 0138-54-5553
E-mail minamiki@crocus.ocn.ne.jp

（広告掲載：南木 哲雄 会員）

◎ 7月5日出席報告（森 秀樹 委員長）

会 員	20名	出席率対象会員	20名
		出席規定免除会員(a)	0名
		出席規定免除会員(b)	1名
当日出席	17名	当日欠席	3名
他クラブ出席	1名	出席合計	18名
出席率		90.00%	

次回のプログラム

<p>8月9日(水) 祝日週休会</p> <p>8月16日(水) 自主休会</p>	<p>8月23日(水) 卓話「Eクラブについて」</p> <p>北海道2500ロータリーEクラブ 2017-2018幹事 湯浅 秀昭氏</p>
---	---

テレフォンサービス(例会移動案内) 電話 26-3170番